

「8歳の息子の気づき。『セルラスって役に立つかも!』」

—「世界に通じる力を育てる」—NPO 法人「多言語広場 CELULAS のメルマガ」—第 69 号—

青々とした緑がまぶしいこの季節、セルラスでは各地で講演会を開催しております。

講演会を聞き、セルラスの活動に興味を持ち活動を始められる方々の、関わり方や価値観、状況は様々。

でも、そんな皆さんが、単に多言語の知識が増えるということではない、人としての変化や成長をそれぞれに感じられるのが、このセルラスならではの「人と作り上げる環境」があるからこそだと思います。

今回は、4月に入会されたばかりのご家族の変化について、ご紹介したいと思います。

【目次】

《1》 「8歳の息子の気づき。『セルラスって役に立つかも!』」

兵庫県明石市在住 岩崎さん 家族構成：夫 8歳長男 4歳次男

《2》 セルラス インフォメーション

《1》 「8歳の息子の気づき。『セルラスって役に立つかも!』」

兵庫県明石市在住 岩崎さん 家族構成：夫 8歳長男 4歳次男

【息子の言葉がきっかけに】

我が家では、8歳と4歳の息子と私の3人でピアザに参加しています。

8歳の長男については、ピアザを体験して入会までの間に大きな変化がありました。

彼は元来人見知りな部分があり、知らない人に話しかけることはとても苦手なことです。

体験会でも高校生の子が気に掛けて話しかけてくれても、何も言えないという状況でした。

でも、体験会でピアザに参加しているうちに、皆さんの前で何かを発言する機会がありました。

大人もいる沢山の知らない人の前で発言するという事は、彼にとって、とても勇気が要ることだったと思いますが、小さな声でしたが何とか発言することが出来ました。

その後、買い物の時に、息子に「自分で〇〇くださいと言ってごらん」と言うと、初めは「そんなことできない」と渋っていました。

でも、私が「セルラスであんなに沢山の人の前で話せたんだから、たった一人の店員さんに話すことはきっとできるよ」と言うと、渋りながらも何とか店員さんに話しかけて、自分一人で買い物をすることができました。

そのことが彼にとってはすごく大きな自信に繋がって何かを感じたようで、「セルラスって役に立つかも」という彼の言葉を聞くことができ、「始めてみよう!」と挑戦する姿勢が感じられました。

これまでの習い事は、親に言われてなんとなく行っているという感じでしたが、セルラスは、自分の意志でという感じがします。

そんな息子の姿勢が、入会を決めるきっかけになりました。

体験会のころからピアザのメンバーの方々には本当に暖かく支えて頂き、皆さんに声をかけてもらいながら回数を重ねるごとに、最初は出来ていなかったロールプレイに参加するようになったりと、気持ちや行動に変化が見られています。

彼にとってセルラス（ピアザ）とは、自分のペースで無理なく自分の苦手なことを克服できる場所であると、感じているのではないかと私は思っています。

【自然と多言語を吸収していく次男】

4歳の次男については、まだピアザの活動に積極的には参加していない状態ですが、その場にいることで多言語の音は吸収しているようです。

例えば、「お母さん、面白い言葉の言い合いっこしよう」と言ってスペイン語のフレーズを口にしたり、「お母さん、僕のクイズに答えてな」と言って韓国語で野菜の名前を言ってみたり。

そんな彼を見ていると講演会で理事長がお話しされていた「皆さん、小さい時、日本語を習いましたか？習ってないけど日常生活で耳にしながら習得されていたのですよ」という言葉を思い出し、4歳の息子はまだ知らない日本語の言葉を吸収するのと同様に、多言語も自然に吸収していったんだなと感じます。

【英語へのハードルが下がった】

私自身については、日常では日々の雑事に追われ忙しいのですが、子供を誘って入会した以上は、ピアザの間中は「お母さんも頑張ってる」という姿勢を示したいと思って、普段の自分よりは積極的に活動しているつもりです。

また、今までとても高かった英語へのハードルがとても下がったように感じます。

まずは英語を習得して多言語へ、という感じに思っていたのですが、多言語を取り入れていくことで、「ほかの言語はわからないけれど英語なら少しわかる」という気持ちになり、英語を話す事への恐怖心みたいなものがなくなりました。

今まで私が経験してきた外国語教育というものは、まずは文法を学び、それを理解してから「聞く」「話す」の段階へ移るという順序だったので、「話す」というときにまず文法を考えてしまい「正しい文法で話さなくては」ということに捉われて、言葉が出てこない、話せないという状況になっていました。

実際に海外に行ったりすると文法なんてどうでもよくて、とにかく伝えようと思って話さないと始まらない、という体験を何度も経験したので、セルラスの「とにかく口に出す」という方法は、とても実践的で有効な教育方法だと思います。

【世界を身近に感じ、広い視野を】

セルラスの活動を通じて留学生の方々との交流をさせていただいています。

実際にカンボジアの留学生と交流を持ったことで、テレビでカンボジアのことが放送されていた時に子供たちは「あっ、〇〇（留学生の名前）の国や！ へえ～、カンボジアってそうなんや」と興味を持って観ていました。

自分の知らないどこか遠くの外国の話ではなく、自分の知っている人が関係する身近な国として世界をとらえられる、そんな広い視野を持った人になって欲しいな、と思っています。

いかがでしたでしょうか？

岩崎さんのように、セルラスの活動を始めたばかりでも、自分が成長できる場だと感じ取り、素直に変化していくお子さんの姿、そしてその姿を見逃さないお母さんの視点は素敵ですね。

そして、そこにお互い受け止め合い一緒に多言語を育てていこうとする仲間がいるピアザの環境があったということも汲み取れます。

ピアザでは、大人も子どもも、同じ立ち位置で一緒に多言語活動しているので、そんな子どもたちの変化も、決して他人事ではなく周りへのいい刺激になり、それぞれが次の一步を踏み出すきっかけにもなります。

私も、たとえ小さな一步に見えても、子供たちの挑戦する姿をみてどれだけ勇気づけられたことでしょうか。

セルラスの多言語活動の先には必ず人がいます。一緒に活動する仲間の多様性や成長にどんどん触れて、一人ひとりが豊かになっていける、そんなセルラスの多言語活動の環境は貴重です。

◀2▶ セルラス インフォメーション

◆初夏の講演会「世界に通じる力を育てる」◆

講演会「世界に通じる力を育てる」の基調講演が各地で行われます。
まだ参加したことのないご家族やお友だちにぜひご紹介ください。

▼関東

<厚木>

6/4（月）午前・6/6（水）午前

<杉並>

6/8（金）午前・6/11（月）午前

<中野>

6/19（火）午前・6/20（水）夜

▼関西

<芦屋>

6/20(水) 午前・6/21(木) 午前

<六甲>

6/27(水) 午前

<垂水>

6/28(木) 午前

<新長田>

6/29(金) 午前

お申し込みはホームページ <http://www.celulas.or.jp> または
本部事務局 03-5333-8202 info@celulas.or.jp までご連絡ください。

◆セルラスでは機関誌『CELULAS(セルラス)』を発行しています。
このメールマガジンと併せてセルラスの活動内容を楽しく紹介しています。
最新号9号では、「セルラスの目指す世界」について、
当法人の理事長が書いております。
また特集「教えて『あなたの取り組み』」では、
メンバーたちの多言語活動に取り組む中での発見がたくさん掲載されています。
ホームページでもご覧になれますので、ぜひご一読ください。
⇒ http://celulas.or.jp/?page_id=399

このメールマガジンは、セルラスの会員をはじめ、これまでセルラスが開催した
講演会、セミナーに参加されるなど、私たちの活動にご興味を寄せいただいた皆さんにお送りしています。
セルラスの多言語活動や異文化体験、楽しい交流の様子などを、より多くの皆さんに知っていただくために
発行しています。
日頃の私たちの活動やご家族で参加していただけるイベントや講演会などのお知らせを、
月2回の予定でお届けします。

「8歳の息子の気づき。『セルラスって役に立つかも!』」

—「世界に通じる力を育てる」—NPO 法人「多言語広場 CELULAS のメルマガ」—第 69 号—

青々とした緑がまぶしいこの季節、セルラスでは各地で講演会を開催しております。

講演会を聞き、セルラスの活動に興味を持ち活動を始められる方々の、関わり方や価値観、状況は様々。

でも、そんな皆さんが、単に多言語の知識が増えるということではない、人としての変化や成長をそれぞれに感じられるのが、このセルラスならではの「人と作り上げる環境」があるからこそだと思います。

今回は、4月に入会されたばかりのご家族の変化について、ご紹介したいと思います。

【目次】

≪1≫ 「8歳の息子の気づき。『セルラスって役に立つかも!』」

兵庫県明石市在住 岩崎さん 家族構成：夫 8歳長男 4歳次男

≪2≫ セルラス インフォメーション

≪1≫ 「8歳の息子の気づき。『セルラスって役に立つかも!』」

兵庫県明石市在住 岩崎さん 家族構成：夫 8歳長男 4歳次男

【息子の言葉がきっかけに】

我が家では、8歳と4歳の息子と私の3人でピアザに参加しています。

8歳の長男については、ピアザを体験して入会までの間に大きな変化がありました。

彼は元来人見知りな部分があり、知らない人に話しかけることはとても苦手なことです。

体験会でも高校生の子が気に掛けて話しかけてくれても、何も言えないという状況でした。

でも、体験会でピアザに参加しているうちに、皆さんの前で何かを発言する機会がありました。

大人もいる沢山の知らない人の前で発言するという事は、彼にとって、とても勇気が要ることだったと

思いますが、小さな声でしたが何とか発言することが出来ました。

その後、買い物の時に、息子に「自分で〇〇くださいと言ってごらん」と言うと、初めは「そんなことできない」と渋っていました。

でも、私が「セルラスであんなに沢山の人の前で話せたんだから、たった一人の店員さんに話すことはきっとできるよ」と言うと、渋りながらも何とか店員さんに話しかけて、自分一人で買い物をすることができました。

そのことが彼にとってはすごく大きな自信に繋がって何かを感じたようで、「セルラスって役に立つかも」という彼の言葉を聞くことができ、「始めてみよう!」と挑戦する姿勢が感じられました。

これまでの習い事は、親に言われてなんとなく行っているという感じでしたが、セルラスは、自分の意志でという感じがします。

そんな息子の姿勢が、入会を決めるきっかけになりました。

体験会のころからピアザのメンバーの方々には本当に暖かく支えて頂き、皆さんに声をかけてもらいながら回数を重ねるごとに、最初は出来ていなかったロールプレイに参加するようになったりと、気持ちや行動に変化が見られています。

彼にとってセルラス（ピアザ）とは、自分のペースで無理なく自分の苦手なことを克服できる場所であると、感じているのではないかと私は思っています。

【自然と多言語を吸収していく次男】

4歳の次男については、まだピアザの活動に積極的に参加していない状態ですが、その場にいることで多言語の音は吸収しているようです。

例えば、「お母さん、面白い言葉の言い合いっこしよう」と言ってスペイン語のフレーズを口にしたり、「お母さん、僕のクイズに答えてな」と言って韓国語で野菜の名前を言ってみたり。

そんな彼を見ていると講演会で理事長がお話しされていた「皆さん、小さい時、日本語を習いましたか？習ってないけど日常生活で耳にしながら習得されていたのですよ」という言葉を思い出し、4歳の息子はまだ知らない日本語の言葉を吸収するのと同様に、多言語も自然に吸収していったんだなと感じます。

【英語へのハードルが下がった】

私自身については、日常では日々の雑事に追われ忙しいのですが、子供を誘って入会した以上は、ピアザの時間中は「お母さんも頑張ってる」という姿勢を示したいと思って、普段の自分よりは積極的に活動しているつもりです。

また、今までとても高かった英語へのハードルがとても下がったように感じます。

まずは英語を習得して多言語へ、という感じに思っていたのですが、多言語を取り入れていくことで、「ほかの言語はわからないけれど英語なら少しわかる」という気持ちになり、英語を話す事への恐怖心みたいなものがなくなりました。

今まで私が経験してきた外国語教育というものは、まずは文法を学び、それを理解してから「聞く」「話す」の段階へ移るといった順序だったので、「話す」というときにまず文法を考えてしまい「正しい文法で話さなくては」ということに捉われて、言葉が出てこない、話せないという状況になっていました。

実際に海外に行ったりすると文法なんてどうでもよくて、とにかく伝えようと思って話さないと始まらない、という体験を何度も経験したので、セルラスの「とにかく口に出す」という方法は、とても実践的で有効な教育方法だと思います。

【世界を身近に感じ、広い視野を】

セルラスの活動を通じて留学生の方々と交流をさせていただいています。

実際にカンボジアの留学生と交流を持ったことで、テレビでカンボジアのことが放送されていた時に子供たちは

「あっ、〇〇（留学生の名前）の国や! へえ～、カンボジアってそうなんや」と興味を持って観ていました。

自分の知らないどこか遠くの外国の話ではなく、自分の知っている人が関係する身近な国として世界をとらえられる、そんな広い視野を持った人になって欲しいな、と思っています。

いかがでしたでしょうか?

岩崎さんのように、セルラスの活動を始めたばかりでも、自分が成長できる場だと感じ取り、素直に変化していくお子さんの姿、そしてその姿を見逃さないお母さんの視点は素敵ですね。

そして、そこにお互い受け止め合い一緒に多言語を育てていこうとする仲間がいるピアザの環境があったということも汲み取れます。

ピアザでは、大人も子どもも、同じ立ち位置で一緒に多言語活動しているので、そんな子どもたちの変化も、決して他人事ではなく周りへのいい刺激になり、それぞれが次の一步を踏み出すきっかけにもなります。

私も、たとえ小さな一步に見えても、子供たちの挑戦する姿をみてどれだけ勇気づけられたことでしょう。

セルラスの多言語活動の先には必ず人がいます。一緒に活動する仲間の多様性や成長にどんどん触れて、一人ひとりが豊かになっていける、そんなセルラスの多言語活動の環境は貴重です。

◀2▶ セルラス インフォメーション

◆初夏の講演会「世界に通じる力を育てる」◆

講演会「世界に通じる力を育てる」の基調講演が各地で行われます。まだ参加したことのないご家族やお友だちにぜひご紹介ください。

▼関東

<厚木>

6/4（月）午前・6/6（水）午前

<杉並>

6/8（金）午前・6/11（月）午前

<中野>

6/19（火）午前・6/20（水）夜

▼関西

<芦屋>

6/20（水）午前・6/21（木）午前

<六甲>

6/27(水) 午前

<垂水>

6/28(木) 午前

<新長田>

6/29(金) 午前

お申し込みはホームページ <http://www.celulas.or.jp> または
本部事務局 03-5333-8202 info@celulas.or.jp までご連絡ください。

◆セルラスでは機関誌『CELULAS(セルラス)』を発行しています。

このメールマガジンと併せてセルラスの活動内容を楽しく紹介しています。

最新号9号では、「セルラスの目指す世界」について、当法人の理事長が書いております。

また特集「教えて『あなたの取り組み』」では、メンバーたちの多言語活動に取り組む中での発見がたくさん掲載されています。

ホームページでもご覧になれますので、ぜひご一読ください。

⇒ http://celulas.or.jp/?page_id=399

このメールマガジンは、セルラスの会員をはじめ、これまでセルラスが開催した
講演会、セミナーに参加されるなど、私たちの活動にご興味を寄せいただいた皆さんにお送りしています。
セルラスの多言語活動や異文化体験、楽しい交流の様子などを、より多くの皆さんに知っていただくために
発行しています。

日頃の私たちの活動やご家族で参加していただけるイベントや講演会などのお知らせを、
月2回の予定でお届けします。